

# 平成 21 年度全国学力・学習状況調査

## 第二次報告

前回の一次報告に続き、今回は「生活習慣や学習意欲の質問紙調査の分析や課題」、「課題に対する改善策」等について第二次報告として公表いたします。

質問紙調査は、小学校 6 年生と中学校 3 年生の児童生徒の学習意欲・学習方法・学習環境・生活の諸側面等に関する内容についてそれぞれの学年に総計 77 の質問が出されました。この中から「基本的生活習慣」「読書」「自尊感情・規範意識」「学校生活」等の項目について、本市の小学生・中学生の調査結果に考察を加えてまとめました。

また改善策については、昨年度より「高石市学校園教育推進計画（高石っ子元気っ子プラン）」で進めてきた取り組みをさらに推進するとともに、今回の結果から見えてきた課題を踏まえて教育委員会と各学校が連携しながら今後取り組んでいくことについてお示しをしています。

今後も学力向上に関する方策だけでなく、子どもたちの『生きる力』の育成をめざして取り組んでまいります。家庭（保護者）や地域の皆様には、今後も学校の教育諸活動にご協力・ご支援をいただきますようお願いいたします。

高石市教育委員会

# I、児童・生徒質問紙調査からわかる5つの傾向

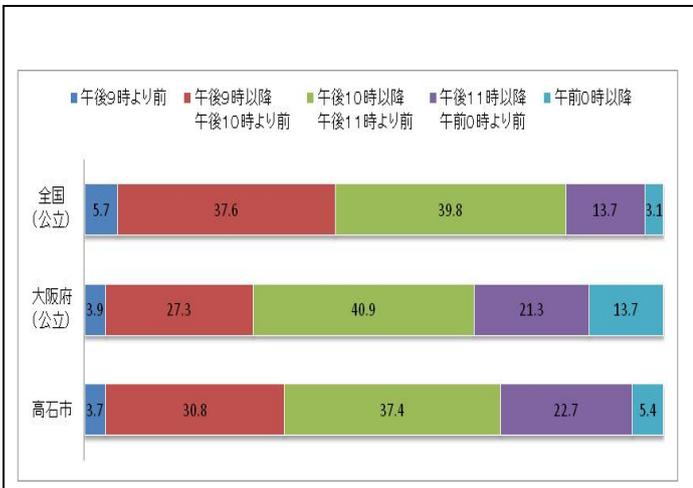
**傾向1：普段（月～金）の起床時刻・就寝時刻は、依然遅い傾向にあるが、朝食を食べている子どもは昨年度に比べて増えている。**

〔グラフ1・2〕より、就寝時刻が遅く、起床時刻が遅い傾向が、昨年度調査に引き続きみられます。また、〔グラフ3〕より、次の日の学校の準備を「前日か、朝に確かめる」とした子どもは全国とほぼ同程度で、小学校では昨年度より増加をしていますが、「全くしない」と答えた子どもも多く、余裕をもって持ち物等の準備をすることを意識する子どもが依然少ない傾向がうかがえます。

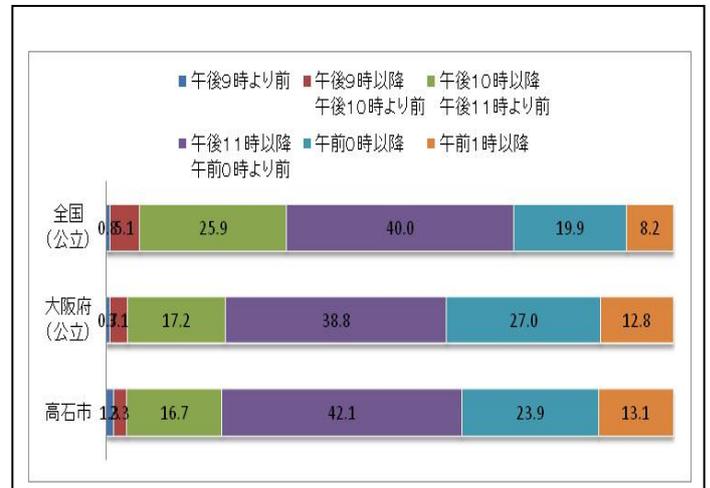
しかし、〔グラフ4〕を見ると、毎日朝食を「食べる（どちらかといえばを含む）」子どもが昨年度に比べて増加しており、反対に「全くしていない」と答えた子どもが減少しています。このことから、朝食を摂る大切さを子どもたちが意識しており、家庭の大きな協力がうかがえます。

## 〔グラフ1〕 普段（月～金曜日）、何時ごろに寝ますか。

### 小学校



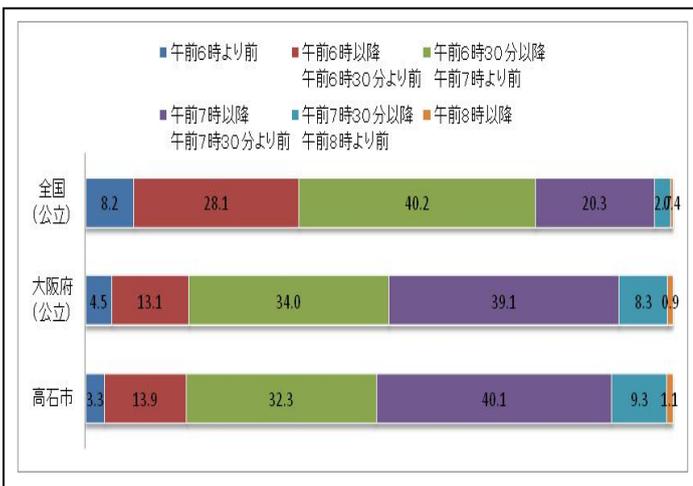
### 中学校



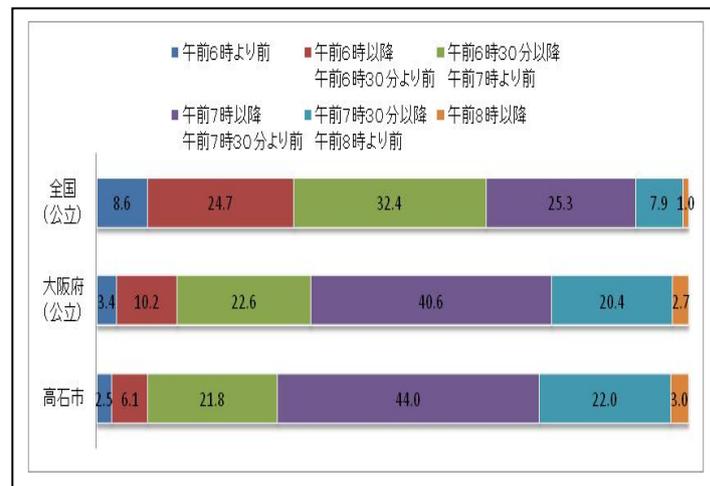
◆昨年度に比べてやや減少したものの、午前0時以降に就寝する子どもは、依然多いことがわかります。

## 〔グラフ2〕 普段（月～金曜日）、何時ごろに起きますか。

### 小学校



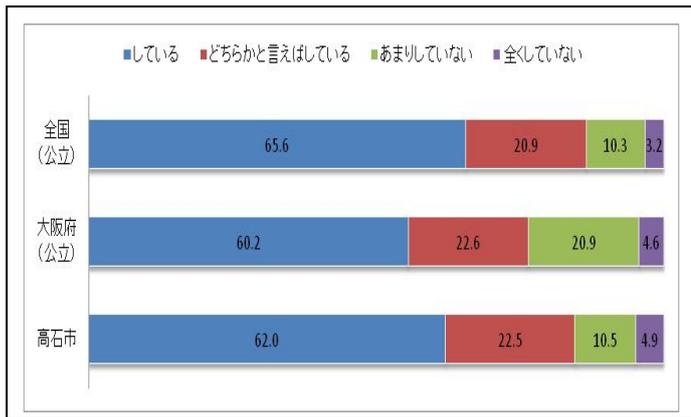
### 中学校



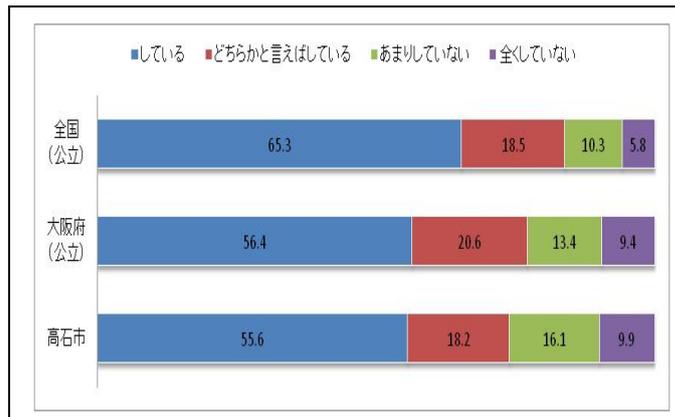
◆昨年度に比べてやや減少したものの、午前8時以降に起床する子どもは、やや多いことがわかります。

**(グラフ3) 学校に持っていくものを、前日か、その日の朝に確かめていますか。**

**小学校**



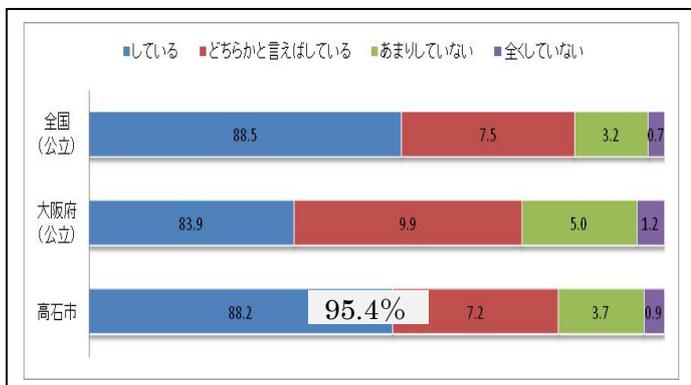
**中学校**



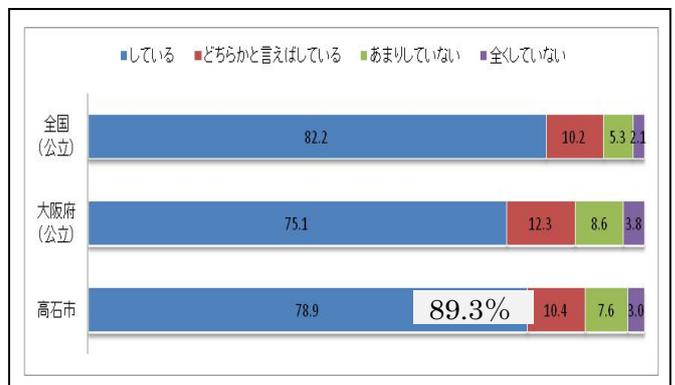
◆学校に持っていくものを「全く確かめない」とした子どもが多いことがわかります。

**(グラフ4) 朝食を毎日食べていますか。**

**小学校**



**中学校**



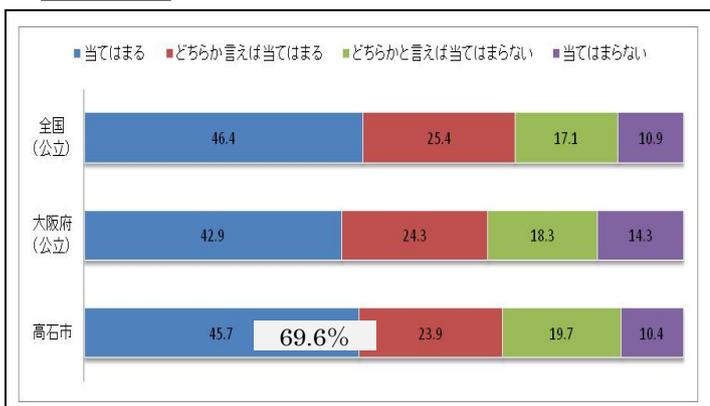
◆毎日朝食を食べていると答えた子どもは昨年より大きく増加し、全国にせまるポイントとなっています。反対に食べていないとした子どもは減少しています。

**傾向②: 読書好きの子どもが増加の傾向にあり、1日あたり2時間以上読書をする子どもも増えている。**

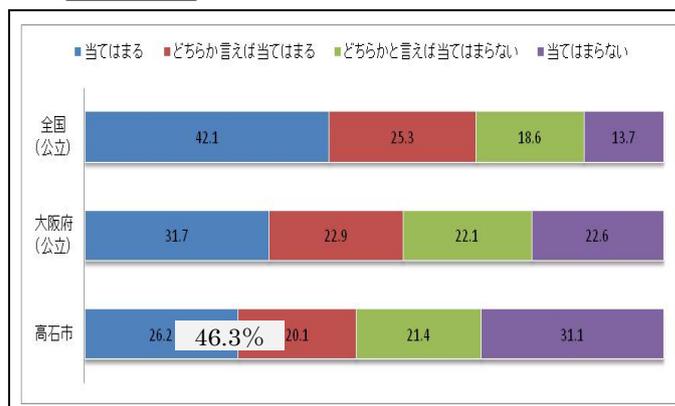
〔グラフ5・6〕より、1日あたりの読書時間が、「10分より少ない」「全くしない」と答えた子どもは特に中学校では7割、小学校でも半数近くになっています。小学校で1日に2時間以上読書をする子どもは全国・大阪府と比較しても多いことから、読書についても2極化が進んでいることがわかります。しかし、読書が好きと答えた子どもは小・中学校ともに昨年調査に比較して増加しており、「全くあてはまらない」とした子どもがわずかに減少していることから、今後も、学校や家庭においてなお一層読書の機会を増やしていくことが大切です。

**(グラフ5) 読書は好きですか。**

**小学校**

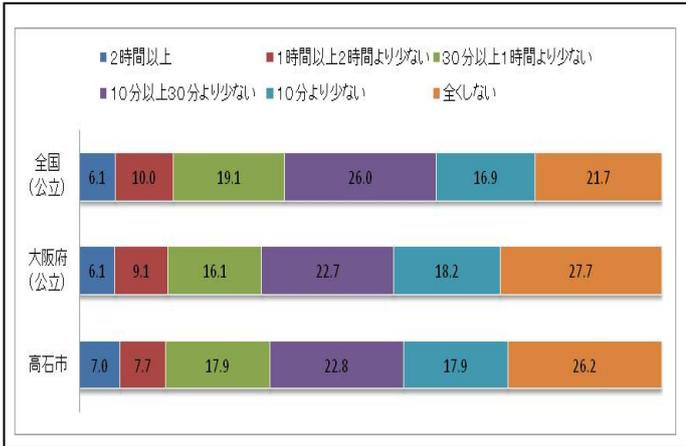


**中学校**

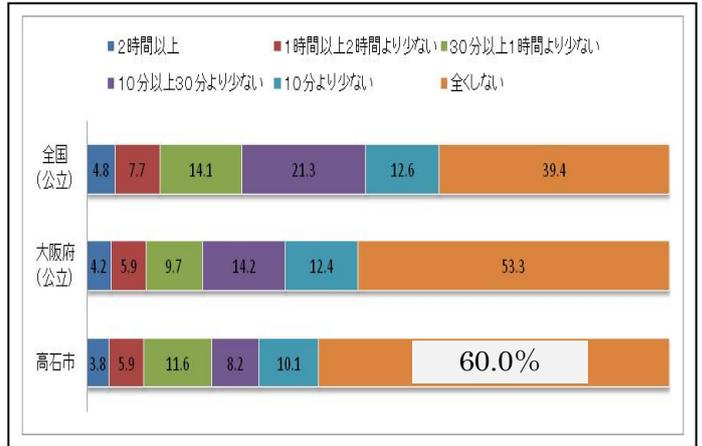


**(グラフ6) 家や図書館で、普段（月～金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか。**

**小学校**



**中学校**

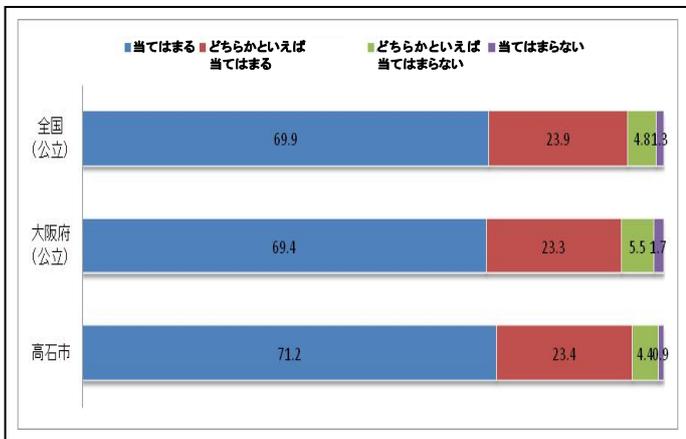


傾向3-①:ものごとを最後までやりとげたり、難しいことでも失敗を恐れず挑戦したりすることに対して望ましい回答をした子どもが増加している。

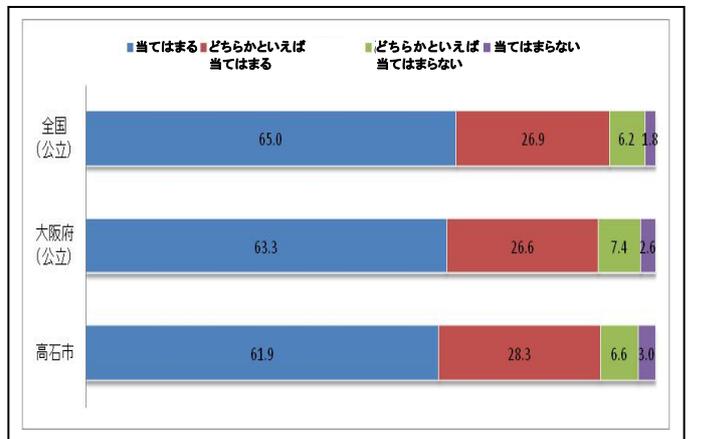
〔グラフ7・8〕より「ものごとを最後までやりとげた充実感」や「難しいことに挑戦する意欲」について望ましい回答をした子どもは小・中学校とも昨年度に比較して増加しています。学校や家庭でも子どもの努力を認め、やり遂げる力を育ててきたことが伺えます。今後も家庭・学校・地域が協力して、子どもたちに、粘り強く挑戦する姿勢を育てていくことが大切です。

**グラフ7) ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがありますか。**

**小学校**

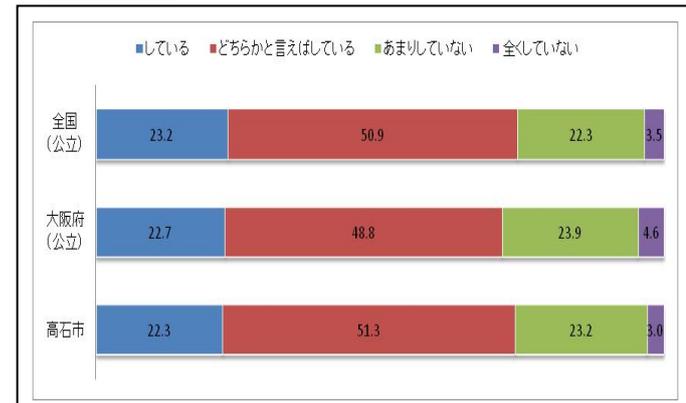


**中学校**

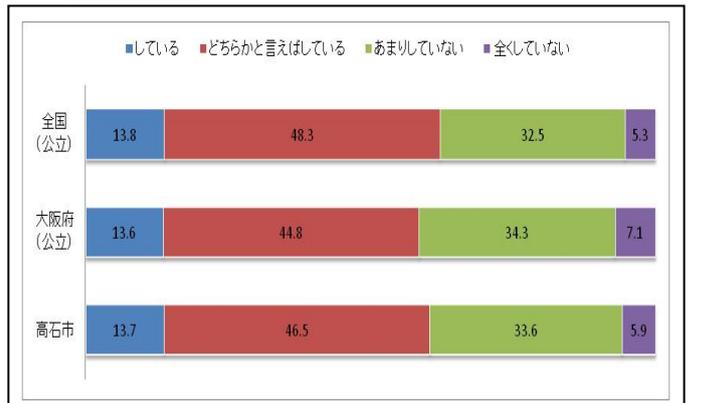


**(グラフ8) 難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか。**

**小学校**



**中学校**



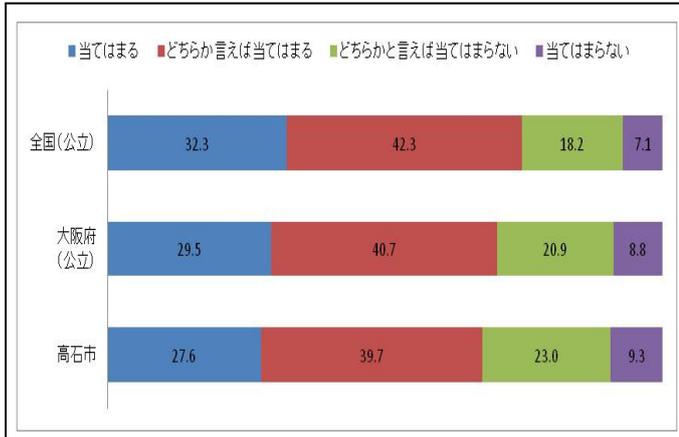
**傾向3-②: 「自分のよさ」を感じている子どもは、やや少なく、「人の気持ちが分かる人間になりたい」と思っているか」「人の役に立つ人間になりたいと思っているか」との問いに対して望ましい回答をした子どもについては、小・中で傾向がやや異なっている。**

〔グラフ9〕では、「自分にはよいところがある」と思う子どもは、小学校では昨年度よりわずかに増加しているものの、中学校では大阪府を下回っています。中学校では反対に「思わない」という子どもが全国・大阪府を上回っています。このような中で〔グラフ10・11〕の「人の気持ちが分かる人間になりたい」「人の役に立つ人間になりたい」と思っている子どもは、小学校では大阪府を上回る結果が出ています。しかし、中学校では大阪府と比較しても下回っておりその差は全国と比較すると大きくなっていきます。

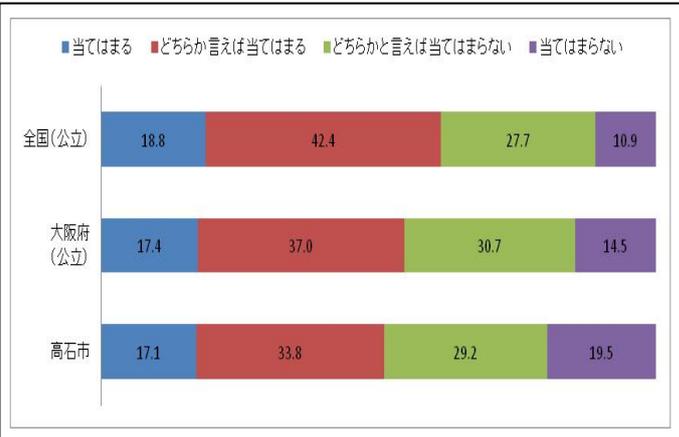
友達と楽しく関わる中で自分への肯定感を高め、「自分のため」だけでなく「他の人のため」に行動することが大切な場面もあるということ子どもたち自身が実感できる様な機会を増やしていくことが大切です。

**(グラフ9) 自分にはよいところがあると思いますか。**

**小学校**

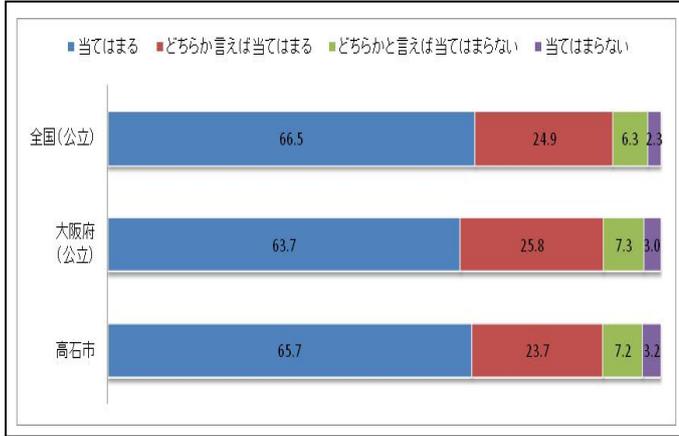


**中学校**

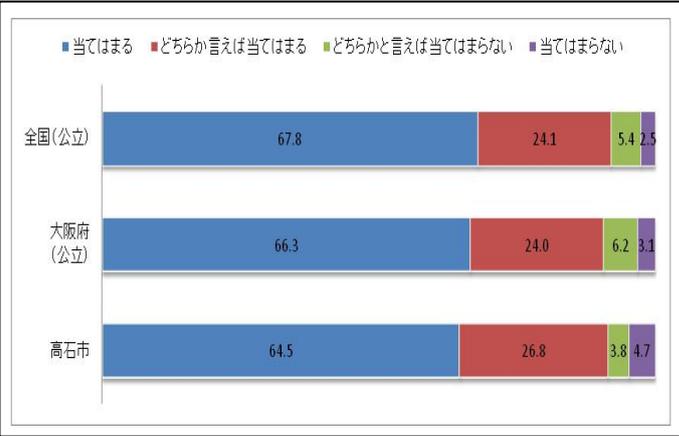


**(グラフ10) 人の気持ちのわかる人間になりたいと思いますか。**

**小学校**



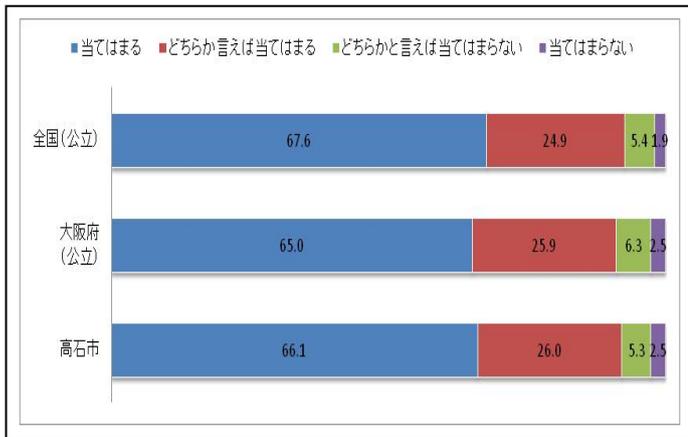
**中学校**



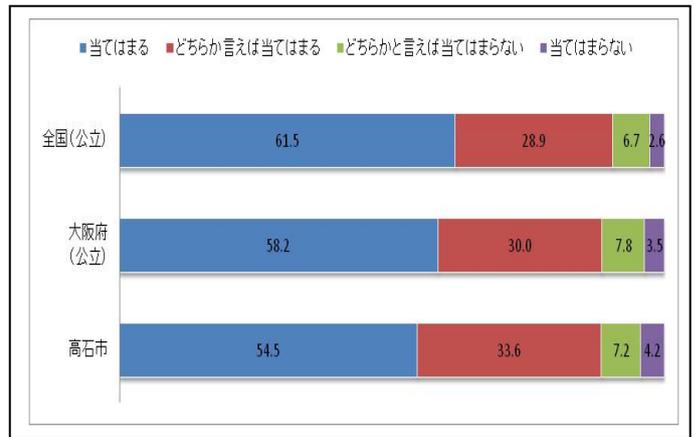
◆中学校では、「当てはまる」と回答した子どもの割合は大阪府に比べても少なくなっていますが、6割以上の子どもが「人の気持ちのわかる人間になりたい」と考えていることが分かります。

**(グラフ 11) 人の役に立つ人間になりたいと思いますか。**

**小学校**



**中学校**

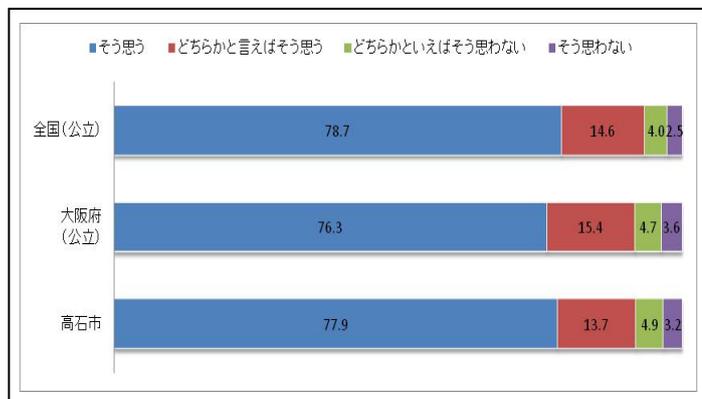


傾向 4: 「好きな授業がある」と答えた子どもは多く、「授業でノートを丁寧に書いている」とした子どもも全国・大阪府と比較して多いことが分かる。

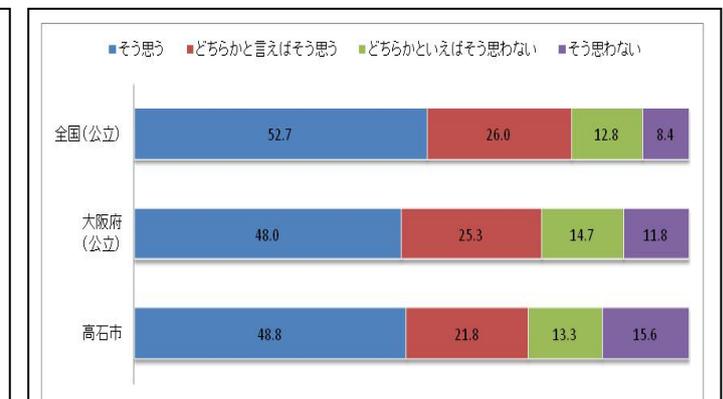
〔グラフ 12〕では、「学校で好きな授業がありますか」との問いに「そう思う」と答えた子どもの割合は全国・大阪府に比較しても同程度が高いことがわかります。また、〔グラフ 13〕では「授業ではノートを丁寧に書いている」と答えた子どもの割合は小学校・中学校共に高くなっています。子どもたちが授業にしっかり取り組んでいる様子が見て取れます。

**(グラフ 12) 学校で好きな授業がありますか。**

**小学校**

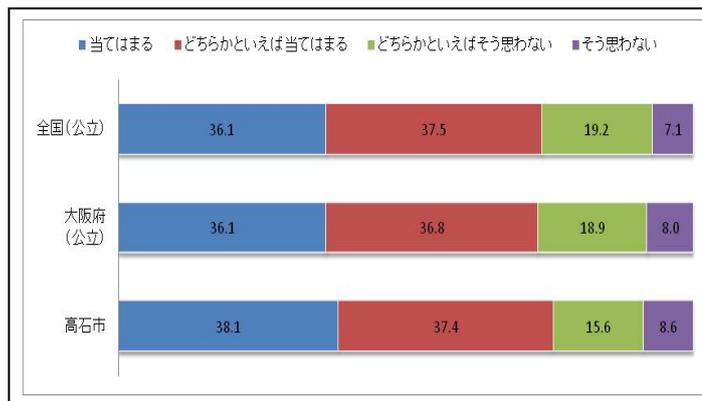


**中学校**

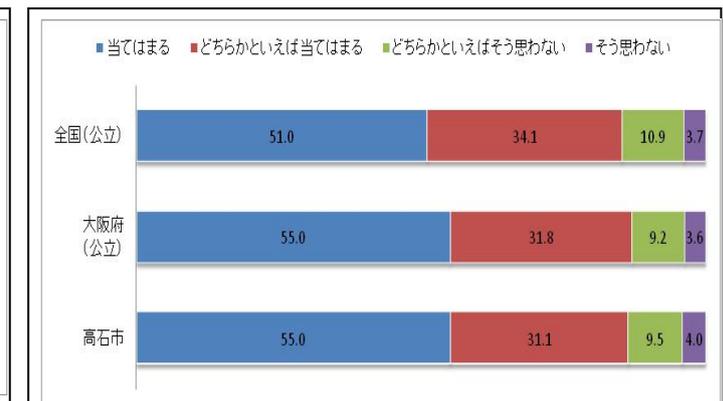


**(グラフ 13) 授業では、ノートを丁寧に書いていますか。**

**小学校**



**中学校**

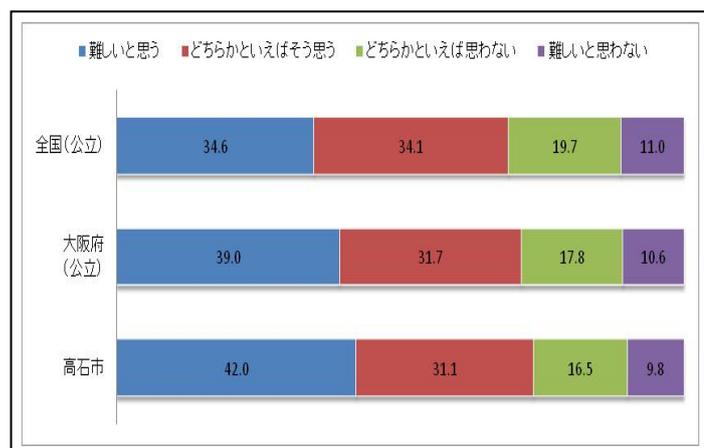


傾向5:「400字詰め原稿用紙2~3枚の感想文や説明文を書くのは難しい」と答えた子どもは小学校・中学校ともに多い。

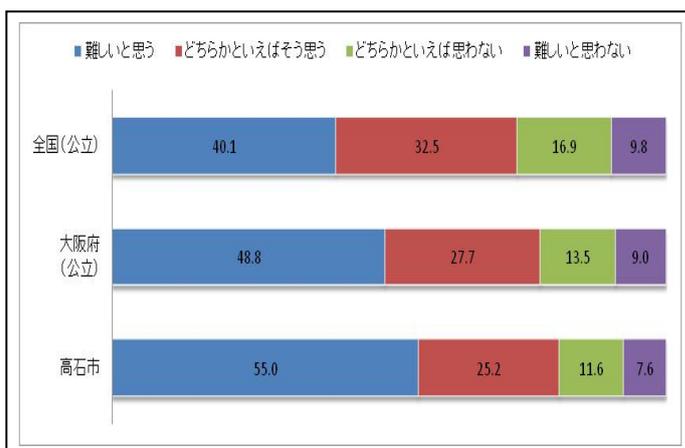
〔グラフ14〕より、400字詰め原稿用紙2~3枚の長い文章を書くことについて、小学校・中学校共に「難しい」と感じている子どもの割合が高いことがわかります。本市の傾向として、「短答式」「選択式」の問題についての正答率が高い反面、「記述式」の問題についての課題が認められますが、長い文章について書くことに慣れていくための作業を授業の中で充実させていく必要があります。それとともに読書習慣を身につけ、よい文章に親しむことで、自分の言いたい事や気持ちを表現しようとする気持ちを高めていくことも大切です。

(グラフ14) 400字詰め原稿用紙2~3枚の感想文や説明文を書くのは難しいと思いますか。

小学校



中学校



その他:質問紙調査による、本市の小・中学生のおもな特徴について

5つの項目以外について、質問紙からわかる小・中学校における、おもな特徴と課題の項目をまとめています。参考として掲載いたします。

質問事項	小学校		中学校	
	全国(公立)	大阪府(公立)	全国(公立)	大阪府(公立)
将来の夢や目標を持っていますか。	↑ 2.2%	↑ 2.6%	↓ 1.0%	↓ 1.2%
普段(月~金曜日)1日あたりどれくらいの時間テレビゲームをしますか。(4時間以上していると答えた割合について)	↓ 0.4%	↓ 1.2%	↑ 3.0%	↑ 1.8%
学校の授業時間以外に普段(月~金曜日)1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。(3時間以上と答えた割合について)	↑ 4.7%	↑ 1.9%	↑ 6.7%	↑ 0.9%
家で苦手な教科の勉強をしていますか。	↓ 2.7%	↓ 0.1%	↓ 2.3%	↓ 0.7%
学校で友達に会うのは楽しいと思いますか。	↑ 0.1%	同じ	↑ 3.5%	↑ 3.3%

上の表からは、小学校から中学校へ学年が上がるにつれて、「学校で友達と会うことが楽しい」という気持ちは高まり、仲間づくりは進んでいます。一方、「夢や目標」は持ちにくく、キャリア教育の必要性が表れています。また、「学習面」で授業以外で長時間勉強をする子どもが増える一方、テレビゲームを長時間する割合も高まっています。放課後の過ごし方において、テレビゲームに時間を割く子どもと、長時間学習する子どもとの2極化が進んでいる傾向が表れています。

## Ⅱ、調査結果等から今後の改善策について

今年度の全国学力・学習状況調査の結果を分析・考察したことにより、昨年度より「高石市学校教育推進計画（高石っ子元気っ子プラン）」で進めてきた取組みの成果と、今後さらに取り組むべきいくつかの課題が明らかになりました。これらの課題を踏まえたうえで、学校一地域・家庭（保護者）一教育委員会が今後さらに連携しながら進めていくべきことについて示しています。

高石市では、次のような内容で“高石市の未来を担う子どもたち”のために『生きる力』を育む取組みを推進いたします。

### ☆教育委員会が中心となって主に取り組んでいくこと

- ◆市の教育課題に応じた研修を積極的に行い、教職員の資質・指導力向上を図ります。
- ◆昨年度に引き続き「早寝・早起き・朝ごはん」キャンペーンを実施し食育の推進と奨励、家庭における基本的な生活習慣の定着を推進します。また大阪府の地域による3つの朝運動(朝食・あいさつ・朝読書)とも連動した取組みを実施します。
- ◆放課後や、長期休業期間に実施する補充学習への学習支援員・ボランティアを募集し、派遣します。
- ◆市の事業において授業改善に取り組む研究推進校を指定し、公開授業等による研究成果発表と効果の検証を行いながら、授業力向上に向けてさらに取組みを進めていきます。
- ◆各学校での授業研究を中心とする校内研修の活性化と研究協議の充実を図ります。

### ☆各学校が現在取り組んでいる、または今後取り組んでいくこと

- ◆ 学習におけるつまずきの把握と補充指導の充実
  - ・放課後学習の実施
  - ・つまずきテストの実施
  - ・長期休業期間(例えば、夏休み)中の学習会
- ◆ 指導内容・指導方法の工夫の推進
  - ・習熟度別授業を取り入れた、少人数指導や複数教員による指導等による、きめ細かな指導の充実
  - ・基礎・基本の徹底と繰り返し学習
  - ・実験・観察などの活用場面を取り入れた授業の研究
  - ・児童・生徒のコミュニケーション能力を高めるため、音読・話し合い・発表など子どもたちが授業の中で聞いた、話したりする学びあいのある授業展開の工夫
  - ・児童・生徒が不得意とする記述式の問題等への対応のための指導工夫
- ◆ 読書活動の一層の推進と充実化
- ◆ 学習規律の徹底を図り、より一層の「落ち着いた授業」への取組み
- ◆ あいさつ運動など基本的な生活習慣の向上のための取組み
- ◆ 一人ひとりが尊重される集団づくりの実現化
  - ・人権教育の一層の推進と道徳教育のさらなる推進

③ 今後の改善策に対して、家庭（保護者）や、地域の皆さまにご協力・ご支援をお願いしたいこと

今回の調査結果の中からも、やはり家庭学習の大切さや「早寝、早起き、朝ごはん」等、基本的な生活習慣が子どもの学習に密接な関係があることがわかります。ご家庭での学習や読書に対しても、子どもたちを励ましなが、時間の許す限り一緒に取り組む等のご協力をお願いします。また学校教育活動におけるボランティア支援や子どもたちとの「あいさつ」などの声かけ等に、ご家庭（保護者）・地域の皆さまには、“高石市の未来を担う子どもたち”のためにより一層のご協力とご支援をお願いいたします。

《特に次の6点について、ご協力とご支援をお願いします！》

- ◆子どもの宿題の確認や、学校の予習や復習等の自主的な家庭学習に対する意欲向上のご協力をお願いします。
- ◆ご家庭における読書の機会向上や子どもへの啓発についてご協力をお願いします。
- ◆学校のさまざまな学力向上等の取組みについてご協力をお願いします。  
（学校支援・図書ボランティアや、放課後学習活動のボランティア等へのご参加・ご協力）
- ◆PTA活動へのご参加とご協力をお願いします。
- ◆各中学校区での「すこやかネット」の活動へのご参加とご協力をお願いします。
- ◆学校と共にあいさつ運動や、早寝・早起き・朝ごはん運動など、基本的な生活習慣の向上のための取組みへのご協力をお願いします。